



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

農村振興部

有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
農村振興部

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名 農村振興部						
業務名 有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務						
業務別業務名:有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 1号 ***					
S02116	旅費交通費		往復		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	旅費交通費 熊本城・市役所前～二本木口、鉄道利用,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P)	地域資材(Pコード) P96012		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)			深夜時間:0.0		
P96012	旅費交通費 熊本城・市役所前～二本木口、鉄道利用	1,000	往復		327	
	合 計				327	算出数量 1,000 各単位
	単 価				327	
	*** S単 - 2号 ***					
S02116	月額利用料		月		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	月額利用料 アカウント数12ユーザー、最大使用容量5GB,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P)	地域資材(Pコード) P96022		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)			深夜時間:0.0		
P96022	月額利用料 アカウント数12ユーザー、最大使用容量5GB	1,000	月		11,100	
	合 計				11,100	算出数量 1,000 各単位
	単 価				11,100	
	*** S単 3号 ***					
S02116	浮遊幼生分析		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	浮遊幼生分析 タイラギ,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P)	地域資材(Pコード) P96002		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)			深夜時間:0.0		
P96002	浮遊幼生分析 タイラギ	1,000	検体		15,000	
	合 計				15,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				15,000	
	*** S単 - 4号 ***					
S02116	浮遊幼生分析		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	浮遊幼生分析 アサリ,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P)	地域資材(Pコード) P96001		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)			深夜時間:0.0		
P96001	浮遊幼生分析 アサリ	1,000	検体		15,000	
	合 計				15,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				15,000	
	*** S単 5号 ***					
S02116	水質分析(クロロフィルa)		検体		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	水質分析(クロロフィルa)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P)	地域資材(Pコード) P96003		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)			深夜時間:0.0		
P96003	水質分析(クロロフィルa)	1,000	検体		5,000	
	合 計				5,000	算出数量 1,000 各単位

事業名 農村振興部						
業務名 有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務						
業務別業務名:有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価				5,000	
	*** S単 6号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.1日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.100日				
R04003	主任技師					
		0.600	人	64,800	38,880	
R04004	技師(A)					
		0.600	人	57,000	34,200	
	合 計				73,080	算出数量 1.000 回
	単 価		回		73,080	
	*** S単 - 7号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.1日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.100日				
R04004	技師(A)					
		0.600	人	57,000	34,200	
R04005	技師(B)					
		0.600	人	47,200	28,320	
	合 計				62,520	算出数量 1.000 回
	単 価		回		62,520	
	*** S単 - 8号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,, L<100km(100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.10日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	327円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	L<100km(100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き		2.000	人	327	654
	合 計				654	算出数量 1.000 回
	単 価		回		654	

事業名		農村振興部				
業務名		有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務				
業務別業務名:有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04002	技師長	0.000	人	75,800	0	
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師（ A ）	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師（ B ）	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師（ C ）	0.000	人	38,400	0	
R04007	技術員	0.000	人	33,600	0	
	合 計				320,400	算出数量 1.000 式
	単 価				320,400	
R04030	図工（測量助手）	0.000	人	0	0	
	*** S単 12号 ***					
S63101	浮遊幼生分析結果のまとめ		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	その他の設計			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	2.00人				
	5)技師 B の人数	5.00人				
	6)技師 C の人数	15.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
	8)図工の人数	0.00人				
	9)作業項目 1					
	10)作業項目 2					
	11)作業項目 3					
	12)作業項目 4					
	13)作業項目 5					
	14)作業項目 6					
	15)作業項目 7					
	16)作業項目 8					
	17)作業項目 9					
	18)作業項目 1 0					
R04001	主任技術者	0.000	人	80,200	0	
R04002	技師長	0.000	人	75,800	0	
R04003	主任技師	0.000	人	64,800	0	
R04004	技師（ A ）	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師（ B ）	5.000	人	47,200	236,000	
R04006	技師（ C ）	15.000	人	38,400	576,000	
R04007	技術員	0.000	人	33,600	0	
	合 計				926,000	算出数量 1.000 式
	単 価				926,000	
R04030	図工（測量助手）	0.000	人	0	0	
	*** S単 - 13号 ***					
S63101	浮遊幼生の生息密度と水質の関係		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	その他の設計			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	4.00人				
	5)技師 B の人数	8.00人				
	6)技師 C の人数	10.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
	8)図工の人数	0.00人				
	9)作業項目 1					
	10)作業項目 2					
	11)作業項目 3					
	12)作業項目 4					
	13)作業項目 5					
	14)作業項目 6					

事業名	農村振興部
業務名	有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務

業務別業務名:有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	15)作業項目 7					
	16)作業項目 8					
	17)作業項目 9					
	18)作業項目 1 0					
R04001	主任技術者	0.000	人	80,200	0	
R04002	技師長	0.000	人	75,800	0	
R04003	主任技師	0.000	人	64,800	0	
R04004	技師 (A)	4.000	人	57,000	228,000	
R04005	技師 (B)	8.000	人	47,200	377,600	
R04006	技師 (C)	10.000	人	38,400	384,000	
R04007	技術員	0.000	人	33,600	0	
	合 計				989,600	算出数量 1.000 式
	単 価				989,600	
R04030	図工 (測量助手)	0.000	人	0	0	
	*** S 単 - 14号 ***					
S63101	ワーキンググループの運営		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	その他の設計			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	7.50人				
	5)技師 B の人数	9.00人				
	6)技師 C の人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
	8)図工の人数	0.00人				
	9)作業項目 1					
	10)作業項目 2					
	11)作業項目 3					
	12)作業項目 4					
	13)作業項目 5					
	14)作業項目 6					
	15)作業項目 7					
	16)作業項目 8					
	17)作業項目 9					
	18)作業項目 1 0					
R04001	主任技術者	0.000	人	80,200	0	
R04002	技師長	0.000	人	75,800	0	
R04003	主任技師	1.500	人	64,800	97,200	
R04004	技師 (A)	7.500	人	57,000	427,500	
R04005	技師 (B)	9.000	人	47,200	424,800	
R04006	技師 (C)	0.000	人	38,400	0	
R04007	技術員	0.000	人	33,600	0	
	合 計				949,500	算出数量 1.000 式
	単 価				949,500	
R04030	図工 (測量助手)	0.000	人	0	0	
	*** S 単 15号 ***					
S63101	資料作成		式		1.000 式	歩 A 当たり算出
	その他の設計			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	2.20人				
	5)技師 B の人数	3.80人				
	6)技師 C の人数	6.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
	8)図工の人数	0.00人				

事業名	農村振興部
業務名	有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務

業務別業務名:有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	9)作業項目 1					
	10)作業項目 2					
	11)作業項目 3					
	12)作業項目 4					
	13)作業項目 5					
	14)作業項目 6					
	15)作業項目 7					
	16)作業項目 8					
	17)作業項目 9					
	18)作業項目 1 0					
R04001	主任技術者	0.000	人	80,200	0	
R04002	技師長	0.000	人	75,800	0	
R04003	主任技師	0.000	人	64,800	0	
R04004	技師 (A)	2.200	人	57,000	125,400	
R04005	技師 (B)	3.800	人	47,200	179,360	
R04006	技師 (C)	6.000	人	38,400	230,400	
R04007	技術員	0.000	人	33,600	0	
	合 計				535,160	算出数量 1.000 式
	単 価				535,160	
R04030	図工 (測量助手)	0.000	人	0	0	
	*** S 単 16号 ***					
S63101	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	その他の設計			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	3)主任技師の人数	0.50人				
	4)技師 A の人数	1.00人				
	5)技師 B の人数	3.00人				
	6)技師 C の人数	6.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
	8)図工の人数	0.00人				
	9)作業項目 1					
	10)作業項目 2					
	11)作業項目 3					
	12)作業項目 4					
	13)作業項目 5					
	14)作業項目 6					
	15)作業項目 7					
	16)作業項目 8					
	17)作業項目 9					
	18)作業項目 1 0					
R04001	主任技術者	0.000	人	80,200	0	
R04002	技師長	0.000	人	75,800	0	
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 (C)	6.000	人	38,400	230,400	
R04007	技術員	0.000	人	33,600	0	
	合 計				461,400	算出数量 1.000 式
	単 価				461,400	
R04030	図工 (測量助手)	0.000	人	0	0	

[illegible]

令和 6 年度
有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務

特別仕様書

農林水産省 九州農政局

第1章 総則

（適用範囲）

第1-1条 令和6年度有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

（目的）

第1-2条 本業務は、有明海全域におけるタイラギ、アサリの2種類の二枚貝類の浮遊幼生の状況を把握するため、関連業務で採取した試料の分析及び結果のとりまとめ等を行うものである。

（場所）

第1-3条 本業務の対象地域は有明海とする。

（業務概要）

第1-4条 本業務の概要は、次のとおりである。

- | | |
|---------------------|----|
| 1. 計画準備 | 1式 |
| 2. 浮遊幼生等分析 | 1式 |
| 3. 分析結果の整理・とりまとめ | 1式 |
| 4. ワーキンググループ運営・資料作成 | 1式 |
| 5. 点検取りまとめ | 1式 |

（履行確実性評価の達成状況の確認）

第1-5条 本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

- ① 審査事項a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ② 審査事項d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③ その他、業務計画書等示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④ 業務成果品のミス、不備 等

（一般事項）

第1-6条 業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

（管理技術者）

第1-7条 管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりとする。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木、農業－農業農村工学又は下記技術部門の選択科目
	農業	農業土木、農村環境、農業農村工学、農村地域・資源計画
	建設	河川、砂防及び海岸・海洋、建設環境
	水産	水産土木、水産水域環境、水産資源及び水域環境
	環境	環境保全計画、環境測定、自然環境保全、環境影響評価
博士	当該業務に関連する学術部門	
生物分類技能検定（1級）	水圏生物又は動物	浮遊生物、遊泳生物、底生生物又は魚類
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	
	河川、砂防及び海岸・海洋	
	建設環境	
	水産土木	

（担当技術者）

第１－８条 担当技術者は、共通仕様書第１－８条によるものとする。

（配置技術者の確認）

第１－９条 共通仕様書第１－11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第１－12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- （１）受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- （２）農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

（保険加入）

第１－10条 受注者は、共通仕様書第１－37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第２章 作業条件

（貸与資料等）

第２－１条 貸与資料は、次のとおりである。

分類	貸与資料	数量
報告書	令和５年度有明海浮遊幼生分析・とりまとめ業務報告書	１式

（貸与資料の取扱い）

第２－２条 第２－１条に示す貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- １．貸与資料は、原則として複写転載を禁ずるとともに、その取扱いは十分留意しなければならない。

2. 貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

(関連業務)

第2-3条 本業務と関連する他業務は、次のとおりであり、監督職員、関連業務の担当者及び管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた調査計画としなければならない。

番号	業務名	業務実施（予定）期間
1	令和6年度有明海特産魚介類生息環境調査(福岡県沖)委託事業（仮称）	R6.4～R7.3
2	令和6年度有明海特産魚介類生息環境調査(佐賀県沖)委託事業（仮称）	
3	令和6年度有明海特産魚介類生息環境調査(長崎県沖)委託事業（仮称）	
4	令和6年度有明海特産魚介類生息環境調査(熊本県沖)委託事業（仮称）	
5	令和6年度有明海浮遊幼生挙動検討業務（仮称）	R6.6～R7.3

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条 本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙作業項目内訳表に示すものとする。

作業項目	数量	備考
1. 計画準備	1式	8月、11月、2月予定
2. 浮遊幼生等分析		
2-1. 浮遊幼生分析（タイラギ、アサリ）	1式	
2-2. 水質分析	1式	
3. 分析結果の整理・とりまとめ		
3-1. 浮遊幼生分析結果のまとめ	1式	
3-2. 浮遊幼生の生息密度と水質の関係	1式	
4. ワーキンググループ運営・資料作成		
4-1. ワーキンググループの運営	1式	
4-2. 資料作成	1式	
5. 点検取りまとめ	1式	

(作業の留意点)

第3-2条 作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-1条に示す貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 浮遊幼生調査における分析は、関連業務（別添図面-1及び2で示す有明海沿岸4県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県）の海域で採取された試料）を用いるものとする。なお、1検体あたりタイラギは2試料、アサリは1試料採取される。また、1試料は200Lの海水を濾過濃縮したものである。
- (4) 浮遊幼生調査における、各調査地点で採取された試料の分析方法は以下のとおりとする。

浮遊幼生分析	分 析 方 法
タイラギ	2 試料をモノクローナル抗体分析し、これを 1 検体とする。
アサリ	1 試料を攪拌後 3 等分したものうち、1 / 3 をモノクローナル抗体分析し、これを 1 検体とする。
タイラギ、アサリ (6、9 月の重複する調査地点)	タイラギは、2 試料のうちの 1 試料目を攪拌後 3 等分し、1 / 3 を形態分類し、残る 2 / 3 をモノクローナル抗体分析する。また、2 試料目については全量をモノクローナル抗体分析する。これら 2 試料を 1 検体とする。アサリは、タイラギの形態分類を行った 1 / 3 試料をモノクローナル抗体分析し、1 検体とする。

(5) 浮遊幼生の分析は層別（表層、中層、底層）に全個体数を計数し、殻長については各地点最大 100 個体まで測定するものとする。

(6) 浮遊幼生調査における分析項目は以下のとおりとする。

分析項目	分析方法	数 量	備 考
浮遊幼生分析（タイラギ）	モノクローナル抗体	336 検体	モノクローナル抗体を基本とするが、同一試料中のアサリを分析する場合は形態分類とする。
浮遊幼生分析（アサリ）	モノクローナル抗体	400 検体	

(7) 水質分析で使用する試料は、関連業務（別添図面－3）で採水した試料を濾過したろ紙（N, N-ジメチルホルムアミドで前処理された試料）を用いるものとし、分析項目は以下のとおりとする。

分析項目	分析方法	数 量	備 考
クロロフィル a	蛍光法による	130 検体	

(8) 本調査で開催するワーキンググループは、水産研究機関の研究者で構成するものとし、以下の時点での開催を想定している。

実施段階	検討内容（案）
第 1 回（8 月予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーキンググループの設置 ・分析結果の中間報告（アサリ（春）、タイラギ分析結果） ・有明海漁場環境改善連絡協議会への報告に向けた準備
第 2 回（11 月予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果の中間報告（タイラギ、アサリ（秋）分析結果）
第 3 回（2 月予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・分析結果の中間報告（全体とりまとめ内容） ・有明海漁場環境改善連絡協議会への報告に向けた準備 ・次年度の計画検討

なお、ワーキンググループは熊本市での開催を想定している。

(9) 共通仕様書第 1－11 条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないものとする。

第4章 業務管理

(情報共有システム)

第4-1条 本業務における業務管理については、次のとおりとする。

- (1) 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- (2) 情報共有システムは、「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（農林水産省Webサイト参照）によるものとする。
- (3) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

第5章 打合せ

(打合せ)

第5-1条 共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

- | | |
|-----|---------------------------|
| 初 回 | 作業着手の段階 |
| 第2回 | 中間打合せ（第1回ワーキンググループ資料作成段階） |
| 第3回 | 中間打合せ（第2回ワーキンググループ資料作成段階） |
| 第4回 | 中間打合せ（第3回ワーキンググループ資料作成段階） |
| 最終回 | 報告書原稿作成段階 |

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第6章 成果物

(成果物)

第6-1条 成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体（CD-R等） 正副2部
2. 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(成果物の提出先)

第6-2条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

熊本県熊本市西区春日2丁目10番1号 熊本地方合同庁舎6F
九州農政局 農村振興部 農地整備課

第7章 契約変更

(契約変更)

第7-1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (2) 第5-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (3) 第6-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (4) 履行期間の変更が生じた場合
- (5) 関係者等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合
- (6) ワーキンググループでの協議結果により監督員が指示した場合
- (7) その他

第8章 定めなき事項

(定めなき事項)

第8-1条 この特別仕様書に定めなき事項又は本業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

作業項目内訳表

作業項目	作業内容	作業数量
1. 計画準備	本業務のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。 また、本業務の目的・主旨を把握したうえで、作業計画を立案する。	1 式
2. 浮遊幼生等分析		
2-1. 浮遊幼生分析（タイラギ、アサリ）	関連業務で採取した試料（浮遊幼生サンプル）を用い、タイラギ、アサリの種の同定及び個体数の計数、殻長の測定を行う。 なお、分析数量は、別紙－1に示す。	1 式
2-2. 水質分析	関連業務で測定する多項目水質計によるクロロフィル蛍光値をクロロフィル a に補正するため、試料を用いてクロロフィル値を蛍光法により分析する。 なお、分析数量は、別紙－2に示す。	1 式
3. 分析結果の整理・とりまとめ		
3-1. 浮遊幼生分析結果のまとめ	分析結果をもとに、調査日、地点ごとの個体数・殻長を整理するとともに、二枚貝類の平面分布と生息密度、殻長組成を整理する。 なお、浮遊幼生調査については調査日ごとに分析結果の速報版を作成し、試料受取後 2 週間以内に発注者に報告する。	1 式
3-2. 浮遊幼生の生息密度と水質の関係	層別の生息密度と塩分等の水質の結果から、水質の違いによる浮遊幼生の生息密度の特性を整理する。 また、層別に、殻長より推定される生育ステージごとの生息密度と水温及び塩分の関係を整理する。	1 式
4. ワーキンググループ運営・資料作成		
4-1. ワーキンググループの運営	水産研究機関の研究者で構成されるワーキンググループを設置し、会議に出席のうえ、会議の準備、開催、運営を行い、会議終了後に議事録を作成する。	1 式
4-2. 資料作成	ワーキンググループで使用する資料の作成を行う。 なお、関連業務の資料を含めて、解析を行う。	1 式
5. 点検取りまとめ	各作業項目の成果をとりまとめた報告書を作成する。	1 式

(別紙－1)

浮遊幼生等分析数量一覧表

・浮遊幼生分析(タイラギ)※1

は、重複する箇所を示す

県名	調査 地点数	① 採水層数		調査回数(回)										② 計	③=①*② 分析 検体数	備 考
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月				
福岡	2地点	福－2	3層			3	3	3	3				12	36検体		
		福－3	3層			3	3	3	3				12	36検体		
佐賀	3地点	佐－1	2層			3	3	3	3				12	24検体		
		佐－3	2層			3	3	3	3				12	24検体		
		佐－5	3層			3	3	3	3				12	36検体		
長崎	3地点	長－1	2層			3	3	3	3				12	24検体		
		長－5	3層			3	3	3	3				12	36検体		
		長－6	3層			3	3	3	3				12	36検体		
熊本	3地点	熊－1	3層			3	3	3	3				12	36検体		
		熊－6	2層			3	3	3	3				12	24検体		
		熊－8	2層			3	3	3	3				12	24検体		
計(11地点)														336検体		

・浮遊幼生分析(アサリ)※1

は、重複する箇所を示す

県名	調査 地点数	① 採水層数		調査回数(回)											③=①*② 分析 検体数	備 考
				4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	② 計			
福岡	2地点	福－2	3層	1	3	3			3	4	4	2	20	60検体		
		福－3	3層	1	3	3			3	4	4	2	20	60検体		
佐賀	1地点	佐－4	2層	1	3	3			3	4	4	2	20	40検体		
長崎	1地点	長－2	2層	1	3	3			3	4	4	2	20	40検体		
熊本	4地点	熊－1	3層	1	3	3			3	4	4	2	20	60検体		
		熊－3	3層	1	3	3			3	4	4	2	20	60検体		
		熊－6	2層	1	3	3			3	4	4	2	20	40検体		
		熊－8	2層	1	3	3			3	4	4	2	20	40検体		
計(8地点)														400検体		

※1 試料採取は関連業務(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県の委託事業)で実施。

※2 浮遊幼生調査(タイラギ)は、6～9月に3回/月の頻度で採取した試料の分析を行う。

※3 浮遊幼生調査(アサリ)は、4月に1回/月、5・6・9月に3回/月、10・11月に4回/月、12月に2回/月の頻度で採取した試料の分析を行う。

(別紙-2)

浮遊幼生等分析数量一覧表

・水質分析(クロロフィルa)(タイラギ)※1

県名	調査項目	① 地点数	②調査回数(回)※5										③=①×② 分析検体数	備 考
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計		
福岡	クロロフィルa	1地点			3	3	3	3				12	12検体	
佐賀		1地点			3	3	3	3				12	12検体	
長崎		1地点			3	3	3	3				12	12検体	
熊本		2地点			3	3	3	3				12	24検体	
計(5地点)													60検体	

・水質分析(クロロフィルa)(アサリ)※1

県名	調査項目	① 地点数	②調査回数(回)※6										③=①×② 分析検体数	備 考
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計		
福岡	クロロフィルa	1地点	1	3	※2			※2	4	4	2	14	14検体	
佐賀		1地点	1	3	※2			※2	4	4	2	14	14検体	
長崎		1地点	1	3	※2			※2	4	4	2	14	14検体	
熊本		2地点	1	3	※2			※2	4	4	2	14	28検体	
計(5地点)													70検体	

合 計※4													130検体	
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	--

※1 試料採取は関連業務(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県の委託事業)で実施。

※2 6月・9月のアサリについては、タイラギ調査と合わせて実施するものとして数量は計上しない。

※3 水質分析(クロロフィルa)は、関連業務において多項目水質計での調査結果のうち、最大の値を示した地点で採取した試料が提供される。

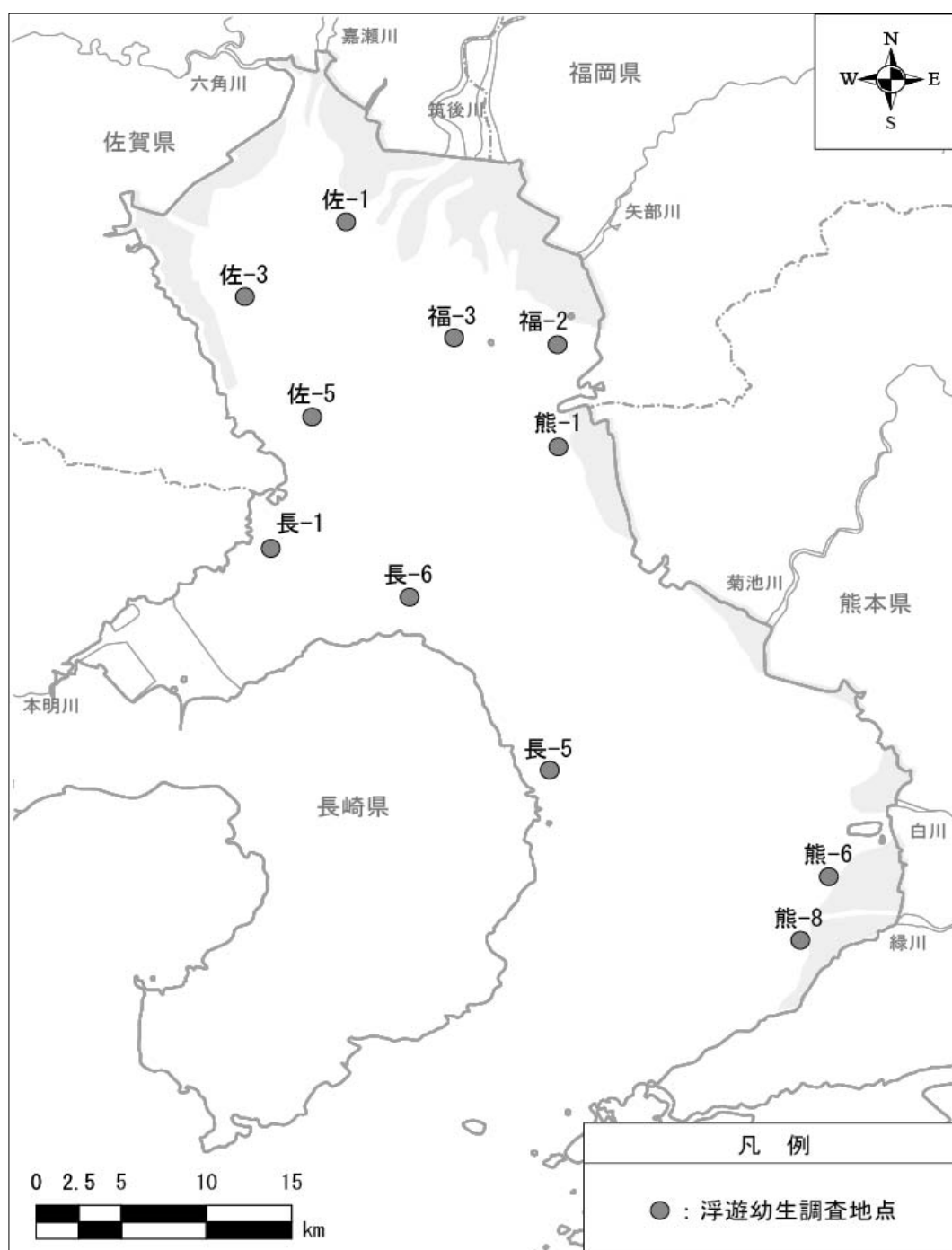
※4 水質分析(クロロフィルa)の検体数は、タイラギの分析検体数とアサリの分析検体数の合計であることから、60検体+70検体=130検体とする。

※5 水質分析(タイラギ)は、6～9月に3回/月の頻度で採取した試料の分析を行う。

※6 水質分析(アサリ)は、4月に1回/月、5・6・9月に3回/月、10・11月に4回/月、12月に2回/月の頻度で採取した試料の分析を行う。

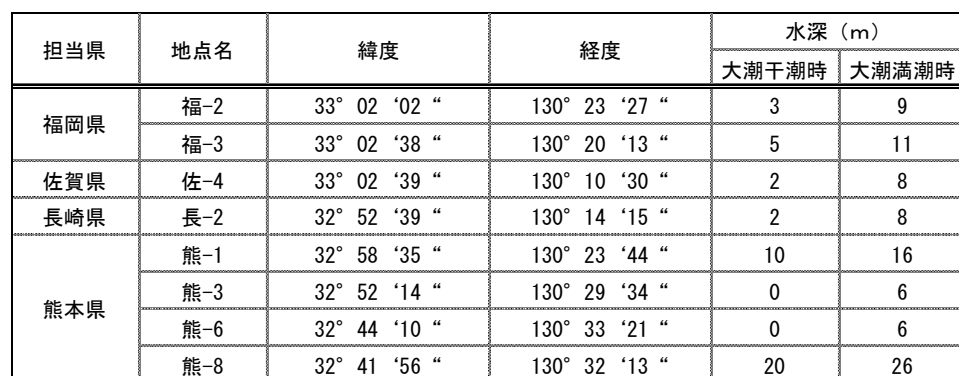
【別添図面－１】

・浮遊幼生調査位置図(タイラギ)

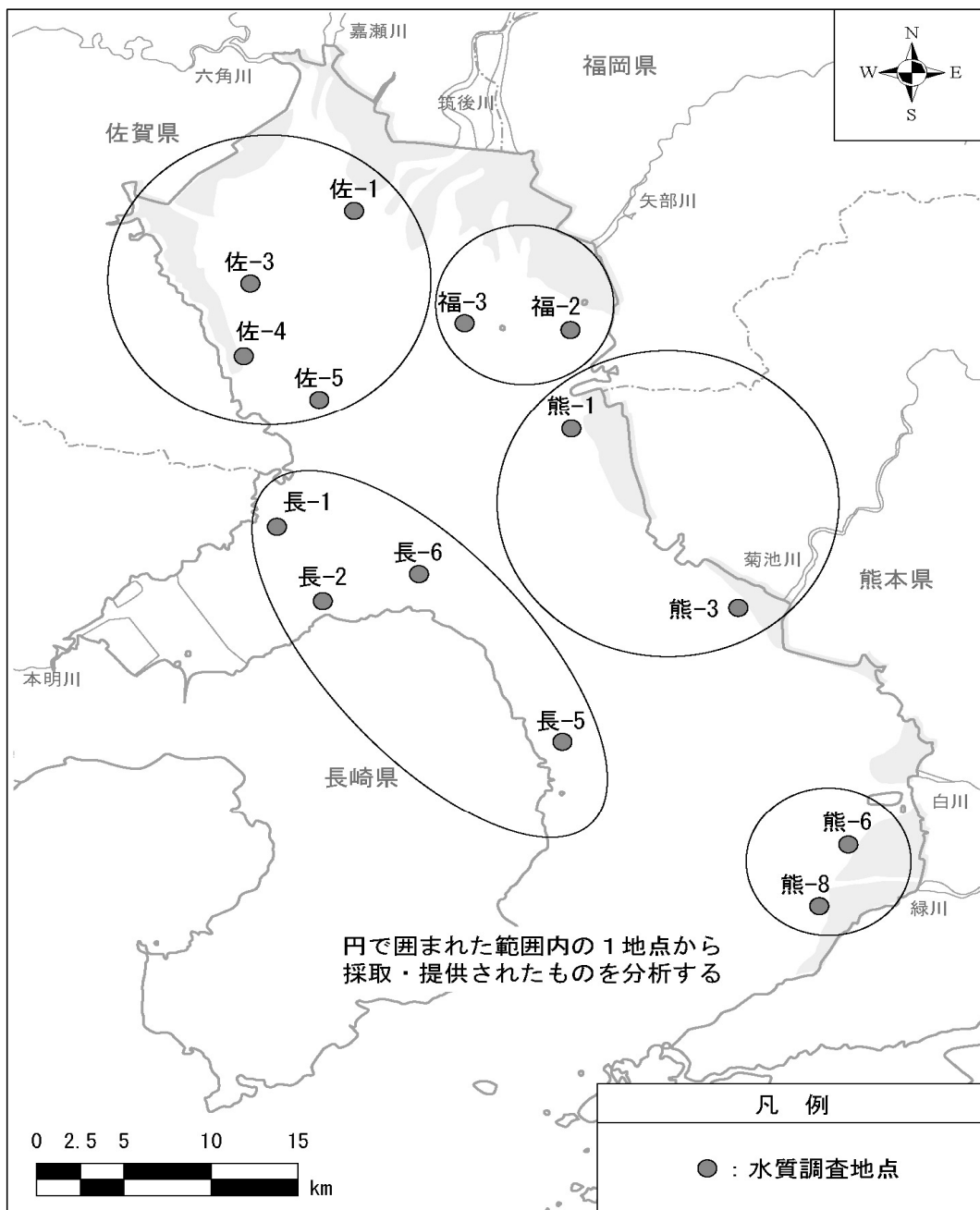


担当県	地点名	緯度	経度	水深 (m)	
				大潮干潮時	大潮満潮時
福岡県	福-2	33° 02 '02 "	130° 23 '27 "	3	9
	福-3	33° 02 '38 "	130° 20 '13 "	5	11
佐賀県	佐-1	33° 06 '51 "	130° 15 '55 "	2	8
	佐-3	33° 04 '03 "	130° 10 '25 "	3	9
	佐-5	33° 00 '05 "	130° 14 '21 "	20	26
長崎県	長-1	32° 54 '55 "	130° 11 '28 "	5	11
	長-5	32° 47 '03 "	130° 23 '01 "	5	11
	長-6	32° 53 '42 "	130° 16 '52 "	9	15
熊本県	熊-1	32° 58 '35 "	130° 23 '44 "	10	16
	熊-6	32° 44 '10 "	130° 33 '21 "	0	6
	熊-8	32° 41 '56 "	130° 32 '13 "	20	26

・浮遊幼生調査位置図(アサリ)



【別添図面－3】
・水質調査位置図



担当県	地点名	緯度	経度	水深 (m)	
				大潮干潮時	大潮満潮時
福岡県	福-2	33° 02 '02 "	130° 23 '27 "	3	9
	福-3	33° 02 '38 "	130° 20 '13 "	5	11
佐賀県	佐-1	33° 06 '51 "	130° 15 '55 "	2	8
	佐-3	33° 04 '03 "	130° 10 '25 "	3	9
	佐-4	33° 02 '39 "	130° 10 '30 "	2	8
	佐-5	33° 00 '05 "	130° 14 '21 "	20	26
長崎県	長-1	32° 54 '55 "	130° 11 '28 "	5	11
	長-2	32° 52 '39 "	130° 14 '15 "	2	8
	長-5	32° 47 '03 "	130° 23 '01 "	5	11
	長-6	32° 53 '42 "	130° 16 '52 "	9	15
熊本県	熊-1	32° 58 '35 "	130° 23 '44 "	10	16
	熊-3	32° 52 '14 "	130° 29 '34 "	0	6
	熊-6	32° 44 '10 "	130° 33 '21 "	0	6
	熊-8	32° 41 '56 "	130° 32 '13 "	20	26